令和3年度 桐生商工会議所 「経営発達支援事業」評価報告書

令和4年5月

桐生商工会議所経営発達支援事業 外部評価委員

目 次

1	外部評価の目的	J	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2
2	外部評価の流れ	l.		•	•		•											•								3
3	外部評価員名簿	į																								4
4	会議開催経過				•																					4
5	評価視点と評価	访方	法																							5
	(1) 評価視点																									5
	(2) 評価方法	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	5
6	外部評価結果				•																		•			5
7	全体的な総括	•										•			•	•	•		•	•			•			6
	【補足資料】																									
	数値目標・実績	ŧ					•					•			•	•	•	•	•	•			•	•		7
	相談指導・補助	金	申	請	等	実	績	İ			•		•												•	8
	会員マンケー b	幺土	: 甲		_					_	_		_	_										_	_	11

1 外部評価の目的

桐生商工会議所では、令和2年3月に経済産業省より2期目となる「経営発達支援計画」 の認定を受け、5年計画で小規模事業者の持続的発展を支援するための各種事業に取り組 んでいる。

この外部評価は、経営発達支援事業を効果的に継続していくため、客観的な視点で各種事業を評価分析し、適切なPDCAサイクルを構築することを目的として行うものである。

外部評価委員は、支援実績と会員CSアンケート結果等に基づき、事業の遂行状況及び実施内容に対する評価分析を行い、経営発達支援事業評価報告書を作成、必要に応じて支援計画の内容について提言を行うものとする。

計画 (Plan)

経営発達支援計画の 作成・見直し

見直し (Action)

各種事業の方向性を 改善・継続

実行(Do)

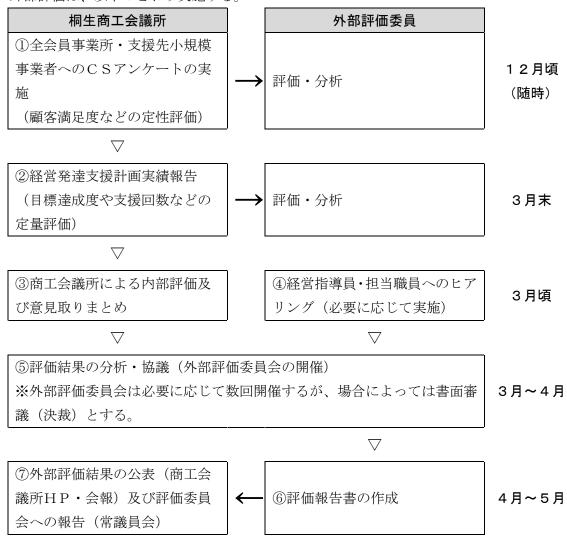
小規模事業者の 持続的発展を支援

評価・分析(Check)

客観的な視点で 各種事業を評価分析

2 外部評価の流れ

外部評価は、以下のとおり実施する。



3 外部評価委員名簿

外部評価委員は、以下のとおり構成する。

任期は、令和2年4月1日から令和7年3月31日まで。

なお、2期目の経営発達支援計画は、桐生市との連携による共同計画であることから、桐生市への委員の委嘱は行っていない。

令和3年度委員

(敬称略)

氏 名	所 属	役 職
権藤哲郎	(㈱日本政策金融公庫前橋支店 国民生活事業	国民生活事業統轄
上山 英人	群馬県産業経済部	経営支援課長
奈良 敬一	(公財)群馬県産業支援機構	総合相談課長

令和4年度委員 ※令和4年4月の人事異動により変更

(敬称略)

氏 名	所 属	役 職			
宍戸俊一郎	(株)日本政策金融公庫前橋支店 国民生活事業	国民生活事業統轄			
上山 英人	群馬県産業経済部	産業政策課長			
齋藤 保史	(公財)群馬県産業支援機構	参事兼総合相談課長			

4 会議開催経過

会議の開催経過は、以下のとおり。

名 称	日時・場所	内 容
第2回	令和4年5月12日(木)	・経営発達支援事業の外部評価について
外部評価	~ 5月20日(金)	
委員会	書面会議にて開催	

5 評価視点と評価方法

(1)評価視点

チェック項目	評価の視点
	小規模事業者を支援するために必要不可欠な事業であるか
必要性	商工会議所が主体となって実施すべき事業であるか
	商工会議所内部の管理運営上必要な事業であるか
	事業の成果は上がっているか
	目標に対する達成度は十分であるか
有効性	地域経済の活性化に貢献しているか
	小規模事業者の課題解決に貢献しているか
	商工会議所内部の管理運営上の課題解決に貢献しているか
効率性	効率性向上に努めているか
が一性	成果を落とさずにコストの削減や業務負担を縮小する方法はあるか

評価の判断基準は下図のとおりであるが、商工会議所の内部意見を踏まえ、総合的な外 部評価とする。

目標値に対する達成率	評価
76% ~100%以上	Α
5 1 % ~ 7 5 %	В
26% ~ 50%	С
0% ~ 25%	D

(2) 評価方法

外部評価は、各事業の「数値目標・実績」に記入されている情報と「桐生商工会議所満 足度調査アンケート」の集計結果を参考にして行った。これらの資料から読み取れない部 分は、補足資料並びに担当者へのヒアリングにより補った。

6 外部評価結果

各事業の外部評価結果は、別頁「数値目標・実績」のとおり。

7 全体的な総括

桐生商工会議所の「経営発達支援事業」については、各事業の目標値に対する実績に若 干差異が見受けられるものの、補助金申請支援等の主要な事業では目標値を達成してお り、全体的には計画に沿った支援事業が行えていると判断できる。

特に、経営発達支援計画の基幹となる経営課題の根本的解決をサポートするための経営分析や事業計画策定支援並びにフォローアップを積極的に実践した。

経営指導員8名が対応した3年度の相談件数は、巡回訪問件数が1,501件、電話を含む窓口応対件数が1,910件であり、小規模事業者に寄り添った伴走型支援を実践した結果であると言える。

具体的には、各種補助金申請等における事業計画策定支援実績は、サービス等生産性向上 I T導入支援事業費補助金(12件)、小規模事業者持続化補助金(83件)、事業再構築補助金(13件)となっている。また、創業促進を目的とした群馬県起業支援金(6件)、桐生市空き店舗活用型新店舗開設・創業促進事業補助金(5件)の申請支援にも取り組んだ。総数(119件)を見ると、目標値を大きく上回る実績を上げており、支援体制の充実と支援ツールの整備により、迅速かつ効率的に取り組んだ成果であると言える。

さらに、専門分野の経営分析や経営課題解決には、中小企業庁の「中小企業119」(3件)や群馬県よろず支援拠点の「よろず出張相談会」(47件)を効果的に活用したほか、 伴走型小規模事業者支援推進事業補助金を活用した専門家無料派遣(60件)、群馬県小 規模事業者エキスパートバンク事業費補助金を活用した専門家無料派遣(10件)を実施 し、各支援機関や専門家と連携した小規模事業者支援にも継続的に取り組んでいる。

3年度も、新型コロナウイルス感染拡大の影響が長期化し、群馬県にも緊急事態宣言が発出、まん延防止等重点措置が適用されるなど小規模事業者に大きな打撃を与えた。展示会やイベントが中止となったことで、支援実績を上げられなかった事業もあったが、今後はオンライン商談会やウェブ展示会といった手法での支援も検討していただきたい。

こうした状況下において、新型コロナウイルス関連の各種支援金や補助金制度が創設され、国の月次支援金、事業復活支援金、群馬県感染症対策事業継続支援金、営業時間短縮要請協力金、桐生市テイクアウト容器購入支援事業補助金、桐生市SDGs推進型事業者応援補助金(59件)の申請支援を行うなど、新型コロナウイルス感染拡大により影響を受けた事業者への支援が大半を占めた一年であったと言える。

最後に、本評価が今後の支援事業の実施に際し、適切に反映されるよう要望し令和3年度の外部評価とする。

<数値目標・実績>

	事業内容	R3年度					
_			目標	実績	達成率	評価	
している地 かつ正確な	□域産業景気動向調査の調査結果も併せて分析することで、より広範 □地域景況感の分析を行う。景況調査・分析の結果は、当所ホーム	4回	4回	100%	Α		
値額等の分	↑析を行う。また、地域外からの滞在人口・宿泊人口の分析を行う。	公表回数	1回	1回	100%	А	
の申請を通	位してローカルベンチマークを用いた経営分析を行う。分析の結果	160件	151件	94%	А		
		事業計画 策定件数	48件	108件	225%	A	
3日間1七 会から招聘	マットのセミナーを年1回開催する。講師は群馬県中小企業診断士協	<u> </u>					
③創業計 7日間1七	アットのセミナーを年1回開催する。講師は中小企業診断士・税理士	創業計画 策定件数	4件	11件	275%	А	
経営指導員 点の有無に く進められ	『を策定した全事業者を対象に、原則2ヶ月に1回の頻度で 策定支援 が訪問し、事業計画の進捗確認と計画実行の上での問題 先 こついて確認する。特に支援が無くても計画進捗を問題無 いると見込まれる事業者はフォローアップ頻度を減らし、		48件	108件	225%	A	
行うことで また、倉	全体の計画達成率を高める。 業計画を策定した創業者に対しては、原則1ヶ月に1回の 創業計画		4件	11件	275%	А	
団体ならびション雑貨 数の作家・イテムの啓 ケート投票	「に大手ハンドクラフトECサイト「Creema」と連携し、新たなファップアイテム開発コンペを実施する。具体的には、Creemaに登録する多でザイナーから、桐生織の生地や刺繍を用いたファッション雑貨で品企画を募る。集まった商品企画についてCreemaサイト上でアンでを行い、アンケートの分析結果をフィードバックしたうえで、人気	, 調査対象 事業者数	5社	0社	O %	D	
	といった素材・技術を活用した新商品開発を行い、Creema サイト	参加事業者数	5社	0社	0%	D	
	ティスト) 販路を構築する。	売上額/社	30万円	0万円			
	ブースを出展し、繊維工業をはじめとする地域の製造技術を活用し	,	3社	2社	67%	В	
	た新商品のBtoB販路開拓を図る。	成約件数/ 社	4件	10件			
	ジネスマッチングフェア」を地元地域で開催し、地域内事業者相互	· 一事未有剱 ·	160社	132社	83%	А	
支援	路開拓を促進する。	、 成約件数/ 社	2件	8件			
		出展 事業者数	5社	0社	0%	D	
	を来場者(一般消費者)へ販売する。 	売上額/社	30万円	0万円			
	⑤プレス発表会開催事業 マスコミ各社を招き、小規模事業者の事業計画のプレゼンテー シュンを行うことで、パブリシティに軽ばてPP活動を支援する	支援 事業者数	5社	0社	0%	D	
	ションを行うことで、ハフリンティに蒸り CPK活動を又抜りる。	掲載件数/	2件	0件			
	⑥巡回指導による地域内事業者マッチング支援(BtoB) 地域内の小規模事業者の情報を取集・蓄積することで、シーズとニーズを引きあわせて地域内の受注循環を促進させる。	支援 成約件数	10件	10件	100%	A	
	め、専門家の協力のもと、ホームページの販促効果を高めるための		5社	3社	60%	В	
員・専門 家による 個社支援			15社	22社	147%	Α	
	<u></u>	<u> </u>					
	しかぺ 値分 のはす る 会を 等学 経点くそ行 頻 団シ数イケ上 医即発よ支でつ一 ②額析 各申、る ①経。 ②3か学 ③7をぶ 事営の進のうま度 繊体ョのテー位い正ジ RE等の 種請 Bi 。 経営 事間らぶ 創間招。 業指有め分こたで 維なン作ムトの 会会会集 指専よる確に Si の結 補を Z 営分 業間招。 業間聘 計導無ら、と、経 加ら雑家の投企 ・・に団 単の は Si 分集 即選	①現在実施している管内景辺調査結果に加え、相生信用金库が同時期に実施している地域産業免象動向調査の調査結果に併せて分析することで、より広覧かつ正確な地域景辺愈の分析を行う。景辺調査・分析の結果は、当所ホーム・一ジに掲載する。 ②RESASを用いて、地域内の事業所について産業別に域外移輸出観や付加価値観等の分析を行う。また、地域外からの滞在人口・宿泊人口の分析を行う。分析の結果は、当所ホーム・プジに掲載する。 各種補助金制度や各種計画認定制度、マル経酸質等の施策を案内し、それらの申請を通してローカルペンデマークを用いた整窓分析を行う。分析の結果は、別とアレデータを開発した接窓分析を行う。分析の結果は、別とアレデータを開発した機能の分析を行う。分析の結果は、別とアレデータを開発した経営分析を行う。分析の結果は、別とアレデータを開発した経営分析を提査が行えるように、「経営指導員による事業計画策定の個社支援・経営分析支援を実施した・小規模事業者に対し、事業計画策定を個別支援する。 ②企業業計画策定セミナーの開催 31日間セットのセミナーを年に同間値する。講師は群長原中小企業診断士・税理士等と紹明セットのセミナーを年に同間値する。講師は群長原中小企業診断士・授理・第を招聘する。事業ピジョン・マーケティング戦略・資金計画等の検討方法を学ぶ。 ③創業計画策定セミナーの開催 7月間間セットのセミナーを年に同間値する。講師は中小企業診断士・税理土等を招聘する。事業が必要がある。事業が必要がある。事業が必要がある。第20年間での一般でで問題集合を定り、の開発に対して、関連を高めて自然を指していて確認する。特に支援の対策を高度に対して、関連を高の対策を無限でに対して、対策を対策を表して、対策を表して、対策は計画を対策した新商品開発を行うため、現生機物協同組合令等の業別がなど、割業計画を対策に下が対すると、割業計画を対策に対して、対策を支援を表して、対策が表して、対策を活用してアント人の企画を実際に商品とより制能を対して、アンケートの介護を指した、対策を活用してで、対策が表に対して、アンケートの介護を指し、アンドメイドにサイトとの連携を指揮し、アンドメイドにサイトとの連携を開発し、いいとなが表して、対策を活用していて、アンケートの企画を実際に高品所を活性が表しまして、対策の方は、アンドメイドに対を活用したが高品のおいのが規度を活用していて、アンケートの介護を指揮に対して、対策を活用になりますが表に対して、アンケートの企業を対象的では、対策を活用していて、アンケートの企業を表に対して、アンケートとの、対域を活用を通りでは、対策を活用に対して、アンケースを対して、アンケースとの、対域を活用が対して、対域の対域を指揮を関して、アンケースとの対域を活動を対域を指揮を関係をは対し、対域を対域を活動を対域が対域を活動を対域が対すが対域の対域が対域を活動を対域が対域が対域を活動を対域が対域が対域が対域が対域が対域が対域が対域が対域が対域が対域が対域が対域が対	①現在表流している色内景沢調査結果に加え、桐生信用金庫が同時期に美施 している色均原業別類を開発を持たした。サンカイラーの開発に変更が多した。 「の現在表流は受別などの有を行う。東京、地域内からの滞在しての信息性、当所ホームーの会議の対象を行う。東京、地域内からの滞在しての信息性、当所ホームページに掲載する。 「必能の金融は、当所ホームページに掲載する。 全経に35を用いて、地域内からの滞在して確角人口の分析を行う。 会経に対象を対象を多向し、それを分析の意思してローカルベンドとも表するように分析の意思は、当所ホームページに掲載する。 ・ 「心経費が与を経験計画で変更の優社支援権を含からが再なしてコーカルベンデークを用い、非理値な対策を変素内し、それを対象には、おはえいを活用して所向にデータを指し、詳細な対象を表内し、それを対象には、おはえいとを用してからに大力検索・事業計画策での優社支援権を含から指導する。事業と対し、事業計画策定を他別を対す支援を定めてまたが支援を実施したが規模等業業を対象に、原則にクリに回の規度制度を分の合きとしても、一の開催・30間で対象を変更がある。 ②事業計画策定やセミナーの開催 30間は対象でもまたが支援を変更がある。事業と対象に、原則にクリに回の規度制度による事業者と対象に、原則にクリに回の規度制力が法を学が、 「金融を対象といる事業を対象に、原則にクリに回の規度制度、表し、対象を指導力が高速し、・事業計画の複数が方法を学が、 「金融を対象といる事業を対象に、原則にクリに回の規度制度、表し、対象を対象に、原則に対象を対象に、原則に対象を対象に対象を対象に対象を対象に対象を対象に対象を対象に対象を対象に対象を対象に対象を対象を対象に対象を対象を対象に対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	□報兵要能している管内景波な素熱に加え、即当信用金音が同時期に実施 している管内景波な素熱に加え、即当信用金音が同時期に実施 いて、対域の事業を取る同語を観異を併せで分析することで、第4リ広範 の一ジに移域を表数なの分析を行う。東沢調査・分析の結果は、当所ホーム つい正成と地域を表数なの分析を行う。東沢調査・分析の結果は、当所ホーム 分析の起程とは、当時ホームページに関する。 全経898を用いて、地域内の事業所について原業別に域外特強出級や付加値 の申請を通してローカルペンデマークを開いた接受分析を行う。分析の結果は、は、812トルで、対域の中な流を検討して呼内にデータ系機し、詳細な数で対し、事業計画策を個別支援する。 多様植制を通してローカルペンデマークを開いた接受分析を行う。分析の結果は、1812トルを活用して所内にデータ系機し、詳細な数でと相談の方式を表現したが映場事業を信がし、事業計画策を個別支援する。 ②季素計画策定せるサータを発し、原理は経済の対域がある。 ②季素計画策定せるサータを目間の関係する。講師は呼音系の検討方法を示用しているます。主要はジョン・マーケティング域・勇士部の事の検討方法を学ぶ。 事業計画変定とした全事業者を対象に、原則2月に1回の均核で担当 の事業計画変定と、アーケアイング域を、勇金計画等の検討方法を学ぶ。 事業計画変定と、アーケアイング域を、勇金計画等の検討方法を学ぶ。 事業計画変定と、アーケアイング域を、勇士部の対域を発しているよれると認らなる事業者はフォーク・アップは現底を図した。 第2年末期間を策定した全事業者を対象に、原則2月に1回の対核では、大変を発しているよれると認らなる事業者はフォーク・アップは現底を図した。 第2年末期間を策定してなる事業者はフォーク・アップは現底を図した。 第2年末期間を確定しているまれると記念が表現を表現した情報をので、現場をのの事態を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	1銀行来進している皆内景が現今結果に加え、根本信用全性が同時期に実施している地域産業者教動制設の容易結果を施せてがあずることで、よりに立 かつこ成立地域系型があり対策を行う。景が建産・分析が砂路県土は、当所ホーム ②を58%を用いて、地域内の中業所について産業別に域外移動出版や付加面 ②を58%を用いて、地域内の中業所について産業別に域外移動出版や付加面 ②を58%を用いて、地域内の中業所について産業別に域外移動出版や付加面 の中的交通してローカルペラデマークを用いた経営分析を行う。分析の発展 経営分析で放展を構したが現後手業者に対し、事業が関係を行う。分析の発展 経営分析で放展を実施したが現後手業者に対し、事業が関係を行う。分析の発展 経営分析で放展を実施したが現後手業者に対し、事業が関係を行う。分析の発展 経営分析で放展を実施したが現後手業者に対し、事業が関策を受している。事業が関係を受した。一つの開始 30%間に対しているます。一を非同関係する。持続に群馬良中小企業診断土協会から設置として、一つの開始 30%間に対しているます。一を非同関係する。持続に対す馬良中小企業診断土協会から設置として、一つの開始 30%間に対しているます。と非同関係する。 議師は中小企業診断土 税理主義を対象の 第まだジョン・マーケティング機路・資金計画等の検討方法 のおりに対する。 割まじジョン・マーケティング機路・資金計画等の検討方法 のおりに対する。 割まじジョン・マーケティング機路・資金計画等の検討方法 のおりに対する。 割まじジョン・マーケティング機路・資金計画等の検討方法 を受ける。 ままじからの場所を行うことでの問題無 をおいましているままが表別でで、対象を対象を対象を受ける。 第まが内部通過である。 は、対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	事務内容	

相談指導・補助金申請・経営計画策定・専門家派遣等実績

①経営指導員の巡回窓口相談指導 (通信・電話等によるものを含む)

(経営指導員8人・設置延月数96ヶ月)

<u> </u>												
		対象企業数	経営革新	経営一般	情報化	金融	税務	労働	取引	環境対策	その他	計
	製造業	140	0	353	1	74	18	14	4	2	26	492
巡	建設業	30	0	55	0	6	5	2	0	2	3	73
□	小売業	137	1	445	6	29	13	0	1	0	38	533
指	卸売業	16	0	12	1	9	0	0	2	0	1	25
導	サービス業	107	0	233	7	42	14	6	8	0	22	332
	その他	25	0	28	0	9	2	0	1	0	6	46
	計	455	1	1,126	15	169	52	22	16	4	96	1,501
	製造業	159	0	277	1	73	39	5	7	0	108	510
窓	建設業	49	0	71	0	19	20	1	0	1	80	192
口	小売業	133	0	265	3	59	34	1	1	0	92	455
指	卸売業	12	0	16	0	10	0	0	0	0	10	36
導	サービス業	147	1	281	3	110	40	2	6	0	101	544
	その他	48	0	86	0	19	11	2	3	1	51	173
	計	548	1	996	7	290	144	11	17	2	442	1,910
創業	巡回指導	4	0	1	0	3	0	0	0	0	0	4
指導	窓口指導	10	0	5	0	15	5	0	0	0	0	25
	計	14	0	6	0	18	5	0	0	0	0	29

②講習会等の開催による指導

		経営革新	経営一般	情報化	金融	税務	労働	取引	環境対策	その他	計
集団指導	回数		5						1		6
	人数		56						17		73
個別指導	回数		21			2					23
	人数		13			98					111

③金融あっせん

		斡旋件数	貸付件数	斡旋総額(千円)	貸付総額(千円)
日本政策	一般•特別				
金融公庫	マル経資金	4	4	35,500	35,500
(国民生	マル経資金(コロナ対応)	5	5	19,200	19,200
活事業)	計	9	9	54,700	54,700
その他	市制度融資	137	118	586,530	483,483
~ V)11L	その他金融機関				
合計		146	127	641,230	538,183

④事務代行

<u> </u>	
事務代行の種類	加入者数
小規模企業共済制度	270
中小企業倒産防止共済制度	59

5国等補助金事業申請支援

事業者の試作品開発、設備投資、創業、販路開拓などの活動を推進するため、国等が公募した 各種補助金事業への申請支援を行った。

a.令和元年度補正·令和2年度補正サービス等生産性向上IT導入支援事業費補助金

申請件数 12 件 採択件数 10 件

b.令和元年度補正·令和2年度補正 小規模事業者持続化補助金

申請件数83件 採択件数43件 採択結果待ち21件

c.令和3年度群馬県起業支援金

申請件数6件 採択件数6件

d.事業再構築補助金

申請件数 13 件 採択件数 7 件

e.桐生市空き店舗活用型新店舗開設・創業促進事業補助金

申請件数 5 件 採択件数 5 件

f.桐生市 SDGs推進型事業者応援補助金

申請件数 59 件 採択件数 59 件

g.雇用調整助成金

申請件数1件 採択件数1件

⑥国等認定経営計画等策定支援

事業者の新商品開発、設備投資、技術革新、人材育成など、経営力強化の活動を推進するため、国等が承認する各種計画の策定支援及びフォローアップ専門家派遣を行った。

a.経営力向上計画策定支援

申請件数6件 認定件数6件

b.先端設備等導入計画策定支援

申請件数 16 件 認定件数 16 件

c.事業継続力強化支援計画

申請件数1件 認定件数1件

⑦令和4年度中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業

事業者が抱える業務上の様々な課題解決を支援するため、企業支援ポータルサイト「中小企業 119」を活用した専門家無料派遣を実施した。

専門家派遣回数 3回

⑧群馬県よろず支援拠点 専門家派遣支援

国が47都道府県に設置した中小企業・小規模事業者のための経営相談窓口。

解決が困難な経営相談のアドバイス・複数の支援機関や専門家がチームを組んでの支援・地域 の支援機関とのネットワークを活用した支援をおこなった。

・よろず出張相談会(桐生商工会議所へ専門家を常駐) 11回開催 相談件数 47件

9件走型小規模事業者支援推進事業補助金 専門家派遣支援

小規模事業者が抱える業務上の様々な課題解決を伴走支援するため、伴走型小規模事業者 支援推進事業補助金を活用した専門家無料派遣を実施した。

専門家派遣回数 60 回

⑩群馬県小規模事業者エキスパートバンク事業費補助金 専門家派遣支援

小規模事業者が抱える経営における様々な課題解決を支援するため、群馬県小規模事業者エキスパートバンク事業費補助金を活用した専門家無料派遣を実施した。

専門家派遣回数 10回

第3回 『新型コロナウイルス感染症 経営に対する影響についてのアンケート』結果報告

■実施期間 令和3年 | 0月 | 日~ | 0月29日(金)

1,972 件

■回収数 2 | 0 件(回収率 | 0.6%)

(※内訳:郵送 I O 2件、FAX54件、WEB54件)

業種	件数
①建設業	10
②機械金属製造業	22
③繊維製造業	32
④卸売・小売業	46
⑤飲食・サービス業	45
⑥その他	55
(協同組合、士業、上記以外の製造業など)	
合 計	210

1. 新型コロナウイルス感染症による経営への影響について

設 問	件数
①未だに影響がある	155
②回復している	24
③影響はない	29
④分からない	2
合 計	210

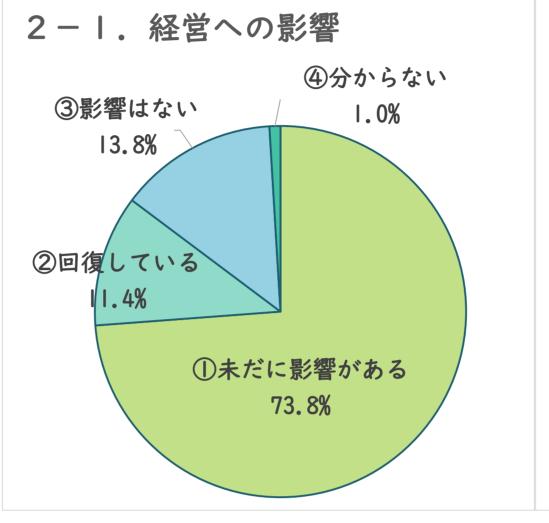
2-1. 前年同期(7~9月)と比較した売上の変化について

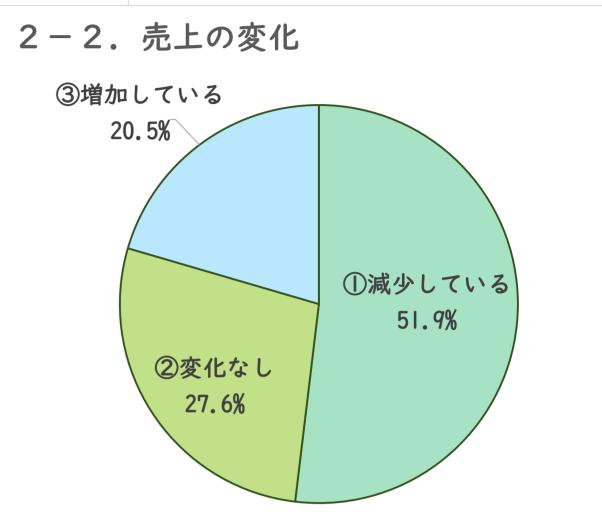
- 1. mg-1 1-23V1 ()	, ,,,,	上小人门	•	•
設	問	件	数	
①減少している				109
②変化なし				58
③増加している				43
合	計			210

2-2. 前年同期(7~9月)と比較した売上の変化の割合について

増加率平均	42.5%
減少率平均	29.9%

①建設業 業種別割合 回答方法别割合 4.8% ②機械金属製造業 10.5% WEB ⑥その他 25.7% 26.2% 郵送 ③繊維製造業 48.6% 15.2% FAX ⑤飲食・サービス業 ④卸売・小売業 25.7% 21.4% 21.9%





桐生商工会議所

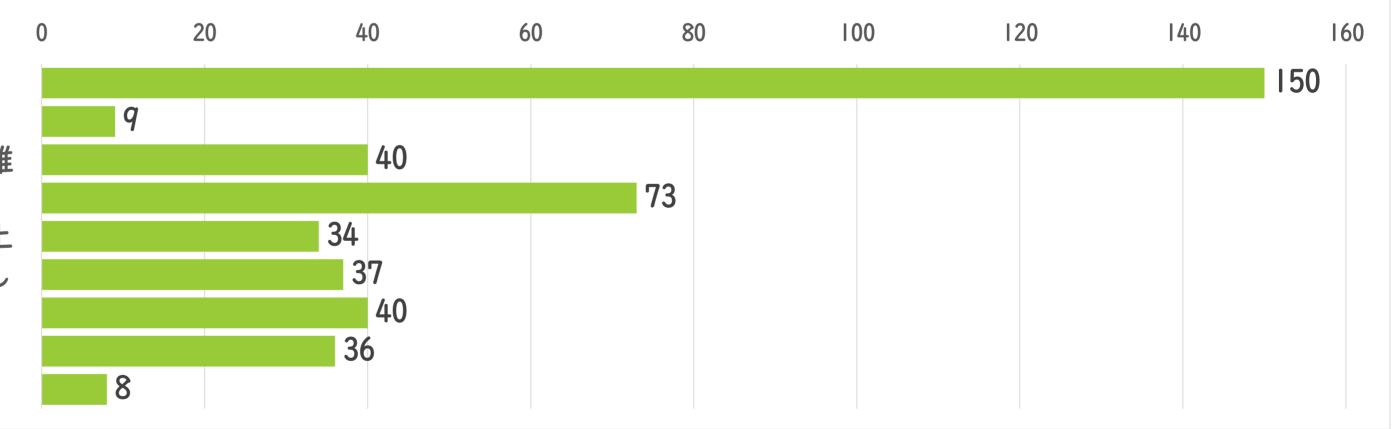
新刑コロナウイルス咸込症の目体的か影響について※複数回答可

3. 新型コロブリイル人感染症の具体的な影音につい	(
設問	件数	割合	設問	件数	割合
①売上(受注)の減少	150	35.1%	⑥予約のキャンセル・発注の取り消し	37	8.7%
②売上(受注)の増加	9	2.1%	⑦従業員の勤務形態・体制の変更	40	9.49
③仕入(材料・商品等)の遅延・困難	40	9.4%	8資金繰りの悪化	36	8.49
④仕入価格の上昇	73	17.1%	⑦海外取引の遅れ	3	1.99
⑤工場・店舗・事務所等の休業・停止	34	8.0%			
その他	·				
団体客なし、計画事業の中止、来館者の極減によ	よる活性化不足	<u>E</u>	イベントや対面接客の減少		
直接お客様と会うことが減った。			海外取引の遅れによる半導体の不足		
客先との面談スタイルの変化			相手先の工場・店舗・事務所等の休業・	停止	
感染予防対策費用の増加			燃料価格の高騰		

您笨了的对束負用仍增加 燃料価俗の同應 施設の貸し出し中止 出展予定の展示会中止 面談のリスケに伴う業務遅延による生産性の低下 出張の自粛 客先からの受注量のアンバランス 新規商談機会の減少

3. 具体的な影響

- ①売上(受注)の減少
- ②売上(受注)の増加
- ③仕入(材料・商品等)の遅延・困難
- ④仕入価格の上昇
- ⑤工場・店舗・事務所等の休業・停止
- ⑥予約のキャンセル・発注の取り消し
- ⑦従業員の勤務形態・体制の変更
- ⑧資金繰りの悪化
- ⑨海外取引の遅れ



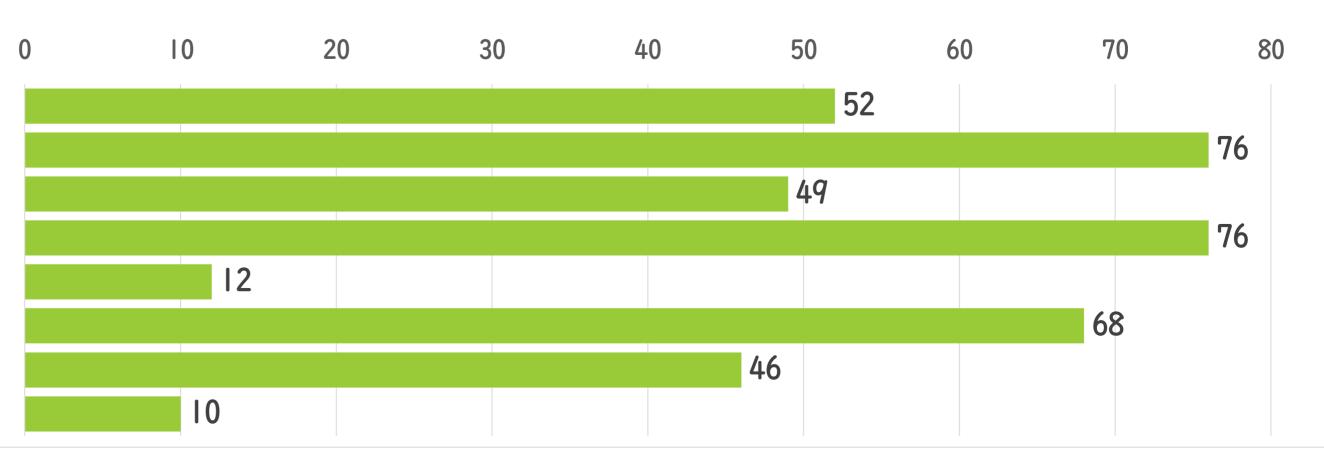
4. 新型コロナウイルス感染症の経営に対する影響への対応策について ※複数回答可

	7.3 NG XIC ()	•	/\\ \&\\	- B 3			
設問	件数	女	割合	設問	件	数	割合
①日本政策金融公庫の緊急融資を活用		52	13.4%	⑤納税猶予等税制措置を活用		12	3.1%
②金融機関の無利子・無担保融資を活用		76	19.5%	⑥各種補助金等の活用		68	17.5%
③国の一時・月次支援金の申請・活用		49	12.6%	⑦自社商品・サービス等の案内やPR		46	11.8%
④県や市の給付金・助成金を活用		76	19.5%	⑧専門家による相談支援		10	2.6%
スの44							

その他 テレワーク・オンライン会議・電子取引導入による新体制の整備 雇用調整助成金 原価に近いセール、経費削減、組合事業の縮小(福利厚生) 事務所貸しで対応

4. 対応策について

- ①日本政策金融公庫の緊急融資を活用
- ②金融機関の無利子・無担保融資を活用
- ③国の一時・月次支援金の申請・活用
- ④県や市の給付金・助成金を活用
- ⑤納税猶予等税制措置を活用
- ⑥各種補助金等の活用
- ⑦自社商品・サービス等の案内やPR
- ⑧専門家による相談支援



5. 新型コロナウイルス感染症対策の導入について困難に感じていることがあればご入力ください

No.	回答
I	テレワークに伴う従業員のモチベーション
2	コロナ対策で制服登校がなくなり、制服着用の機会が減っている。学校行事も中止が相次いでいる為、小物の売上に影響が出ている。
3	オンライン販売(HP)をしたいのですが…色々考えてしまいます費用がねー
4	細々と体験教室を開催したいと思ってます。1人から3人4人くらいの人で、ひっそりと…いい宣伝方法ありますでしょうか
5	補助金に対しての理解があまりないので教えてくれると助かります。
6	解説ボランティア人材の長期休業(自宅待機)、検温・消毒の実施、抗原検査の導入
7	パーテーションの設置
8	お客様の現場で作業しなければならない業務が多くテレワーク導入が困難
9	オンライン会議では一方通行になりがち
10	客足がなくなって年金だけでは生活が大変です
11	補助金が少額すぎる
12	テレワーク端末不足
13	ホームページを作成したいのですが利用できる補助金はありますか?
14	事業再構築補助金など専門家でないと困難
15	密を避けるためのリモートワークを定着させてたいが、個人情報の取り扱いもあり、難しいと判断している。
16	テレワーク不可能である
17	相手方がオンライン導入等手間取っているケースが多くスムーズに行かない。
18	面談等直接相対しての会話が出来ず営業拡大が困難 反面ズームなどを利用し対談が出来ている面もあります
19	テレワークの導入ができないこと
20	申請は人頼みですが何とか進めていってます
21	補助金・支援金何があるかわからない申請方法も
22	補助金の申請方法がわからない
23	現場ありきの業種なのでテレワーク等が不可である事
24	高齢化して居り体力が続くうちその後廃業予定
25	製造業の為根本的にリモートが作業者は出来ない
26	オンライン会議の導入に手間取っている
27	補助金の支給の遅れ
28	オンラインではやる気がおきない一方通行の気がする
29	業務柄テレワークはできない
30	店内対策として店舗・設備機器全体へ光触媒で抗菌仕様にしお客様に安心で利用していただけるようにした
31	家族でやっている会社なのでテレワークやアクリルパーテーションの使用もなく通常業務において特に困難を感じることはない。
	検温や手洗い消毒は今後もしっかりと行っていきたい。Iつ、マスク+パーテーション+マスクで聞き取りにくいことがある
32	補助金等が出ましたら至急教えてほしい
33	群馬県の事業継続支援金について教えてもらいたい
34	ワクチン接種日を休日(有給とは別の会社が賃金負担している日)としている企業に国からの補助金等を出して頂けると助かります。
35	オンライン会議のスキル
36	見学数の伸び悩み
37	月次支援金の申請の仕方がよくわからない。
38	業務柄 対人の機会を減らすことが難しい
39	補助金が取れても入金が遅かったりするのは困る。
40	コロナ対策の融資を申し込みたいがどこへ相談したら良いか分からない
41	対策のための経費負担増
42	商工会の清水杣に適時、補助金情報等のご支援を頂き、当社の顧問先をはじめ、大変助かっております。
43	補助金の申請に手間取っている。
44	ウィズコロナ補助金の詳細など、補助金の申請に戸惑っている。
45	自社商品・サービス等の案内やPR はい今年の中誌まはがわからないときがある。パソコン年がわからないときがあるのではしませました。」
46	補助金等の申請方法がわからないときがある。パソコン等がわからないときがあるのでおしえてもらいたい! ・朗礼・レクリエーション、 旅行などの合社の行事ができない ・タ提の寒い時の窓間はの寒気ができない
47	・朝礼、レクリエーション、旅行などの会社の行事ができない ・冬場の寒い時の窓開けの寒気ができない

6. 商工会議所に対するご意見・ご要望があればご入力ください

No.	回答
	業種に合った補助金などを早めに教えて欲しいです。
2	ICTやDX・IoTに関心を持たれている企業を紹介して頂きたい。
3	受付の方の対応が早くてとても良いです
4	まだ予断の許さない中色々と支援の情報をよろしくお願いします
5	いつもご協力ありがとうございます。イベント報道発表お願いします(広報)
6	時代の変革に伴い消費者ニーズの変化この意識に促した販売方法の研究開発売れる買いたくなる新商品開発についてのセミナーがあると良い
7	融資の紹介
8	なかなか出向くことができないのですが所員(宮﨑サン)からの情報が助かっています。今後もどうぞよろしくお願い致します。いろいろ教えてください。
9	いろいろな情報発信参考になっております
	日ごろは、お世話になっております。「地域の未来を支える」ことをコンセプトに活動しています。
10	地元桐生市を大切にして、弊社製品やサービスの提供を通じて、地元桐生市に貢献していきたいと考えいますので、
	準備ができ次第、「チラシの配布サービス」を利用したいと思っていますでのよろしくお願いします。その説は、よろしくお願いします。
11	いつも最新情報のご案内ありがとうございます。
12	あちこちの商工会議所に入っていますが桐生の商工会議所には大変お世話になっています
13	マッチングをお願いしたい
14	ワクチンの団体接種の案内など早々と手をうたれて感心しました。私共もGメッセで独自で早々にすませることができました。
15	コロナ対策・給付金・助成金等の窓口が多岐にわたっている為検索することが困難である
16	税金を納めている会社に均等に仕事を出すこと!公共の仕事で!
17	補助金・助成金など教えてほしい
18	国・県・市の助成金、補助金等の情報を細かく知らせて欲しい。(PCメールorFAX等で)
19	お世話になります おかげ様で色々な手続きや相談していただいて有がとうございます
20	会員に対して積極的に給付金・助成金など教えてほしいただ年会費を払っているだけのようだ。
21	ノコギリ屋根工場のアップサイクル研究会
22	現状で便りにもしなければ協力もしないで何んとか過ごします
23	いつも有意義な情報有難う御座います
24	前年同期と比較すると増加しているが2年前と比較すると-80%売上減少している
25	シャッター街をどうにかしてほしい
26	具体的な仕事の内容がわからない
27	月一回程度訪問できたらしてほしい(いそがしいと思いますが)
28	小規模持続化補助金その他でお世話になっており大変助かっております。
29	支援金や助成金、補助金について随時案内が欲しい
30	店が古くなり金融公庫の融資を使いたいのですが相談出来ますか?
31	ICTやDX·IoTに関心を持たれている企業を紹介して頂きたい。 いつも相談に真摯に向き合っていただき、また各種情報の配信も効果的に活用させていただき大変感謝しております。今後ともよろしくお願いいたします。
32	いつも相談に具筆に向さ合う(いたださ、また谷種情報の配信も効果的に活用させ(いたださ入変感謝しております。今後ともよろしてお願いいたします。 いつも大変お世話になっております。会計等、ご助言をよろしくお願い致します。
34	一、プログダの世話になっております。云前寺、こ助古をようしてお願い取します。 一会員の集いを再び開催してください。
35	一会員の果いを丹の開催してください。 一商工会議所会員の中で、店舗、事務所、工場でコロナ対策をしているという事例を会報に沢山掲載して欲しかった。
36	個工会議所会員の中で、店舗、事務所、工場でコロア対象をしているという事例を会報に水田掲載して飲むがった。 事業の資金調達など融資の受け方など
37	事業の負金調達なと融負の支的力なと 気分だけでも景気よくなるようなイベントの開催
38	秋がたりでも京式よくなるようなイベンドの開催 様々な情報提供に感謝・・・
39	「根々な情報提供に感謝する。 月次支援金の事を清水さんからお聞きし、申込し無事入金されました。本当に助かりました。ありがとうございました。
40	日外文援並の争を消水さんからお闻さし、中处し無争人並されました。本当に助かりました。めりがとうこさいました。 良い相談員の方に当たるととても有用で勇気づけられます。
41	後い相談員の力に当たるととでも作用で男気 力のられます。 補助金などの情報、非常に助かっています。
42	Mind and Configuration Constraints
43	メールマガジンは役に立ってます。
44	当方、車ものれない(高れい者のため)ので、定期的に貴社の方が回ってきてくれると、大変ありがたいです、よろしく
44	コル、干しい1いより、(同1い 日かため) かし、圧灼的に貝化がルが口でしてして1いると、八夕のカルだいしり、よりして

令和3年度 桐生商工会議所 「経営発達支援事業」評価報告書 令和4年5月

作成:桐生商工会議所経営発達支援事業外部評価委員

編集·発行:桐生商工会議所

〒376-0023 群馬県桐生市錦町 3-1-25

電話 0277-45-1201

FAX 0277 - 45 - 1206